



5月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 1日(金) 津別21世紀の森キャンプ場オープン
温水プール「すいむ」オープン
- 3日(日) [休日当番病院] 津別病院 ☎76-2121
- 4日(月) [休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
- 5日(火) [休日当番病院] 美幌 みやざわクリニック ☎75-0800
- 6日(水) [休日当番病院] 美幌療育病院 ☎73-3145
- 10日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
町民植樹祭 午前9時～
- 16日(土) 道路クリーン作戦 午前7時30分～
ウッドロスマルシェ開催
- 17日(日) [休日当番病院] 女満別中央病院 ☎74-2181
春の生ごみ堆肥還元(有料) 堆肥センター
- 20日(水) 離乳食教室
- 23日(土) リサイクル回収
- 24日(日) [休日当番病院] 美幌 玉川医院 ☎75-2780
- 31日(日) [休日当番病院] 美幌 こばやし内科クリニック ☎73-3356



人の動き

令和8年3月末現在
()は前月比

人口 3,844人(-27) 世帯 2,094戸(-4)
男性 1,914人(-16) 女性 1,930人(-11)
高齢化率 45.55% 1,751人

町の防災情報など大切な情報を
登録された方のメールやLINEにお届けしています。

「ささえねっと@つべつ」

※詳細は、町の
ホームページから
ご確認ください。



メール配信システムに登録お願いします！登録方法は以下のとおりです。

メール
の場合

方法①
右の
QRコード
から登録



方法②
空メールを
t-tsubetsu@sg-p.jp
に送って登録

LINE
の場合

方法③
右の
QRコード
から登録



【232】 シングルマザーが 安心して住めるまち

昨年4月から職員が1年の3分の1ほど東京のEZO HUB TOKYOに滞在し、タウンプロモーションを行っている。ここでJAL日本航空の職員と繋がった。

JALは令和7年に、地域貢献に関心を持つ学生(ガク)と地域をつなげる(ツナ)「ガクツナプロジェクト」を開始した。これは学生がその

地域に数週間滞在し、双方に変化と価値を生み出すことを目的としている。津別町はこのプロジェクトに参加した。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

学生の応募は40名ほどあり、JALの職員による面接を経て6人の学生が選ばれ、3月1日から2週間津別町に滞在した。この間に様々な人たちと意見交換し現場にも足を運んだ。そして最終日に、キャビンアテンダントの女性が司会を務める成果発表会が行われた。

自身の家庭環境を振り返り、「シングルマザーが安心して住めるまちに」という提案は特に心に残った。

芝浦工大、中央大、東大生によるAチームからは、カラオケもなく服などもすべてに「ズネ」、

学生たちにとって2週間はあっという間だったようだ。何かしら挑戦する町民との意見交換を通して、改めて自分の生き方を考えるよい機会にもなったという。そして、津別町は帰りたく思っ町になったと感想を述べていた。

ネットでお金が出流していると現状分析し、お金の地域循環を図るためには、外出する理由が少ないため外に出る動機付けが必要。ハイヤーの営業を妨げない範囲でツベノリ(ライドシェア)を導入し、町民が稼ごうときに稼げる仕組みづくりなどが提案された。

東海大、立教大、道教育大生によるBチームからは、クマヤキのバリエーションとして、スープカレーやハンバーグがAを使って表現された。鹿による農業被害対策としては、「鹿柵づくり体験ツアー」が提案された。また、